

福寿草の会だより



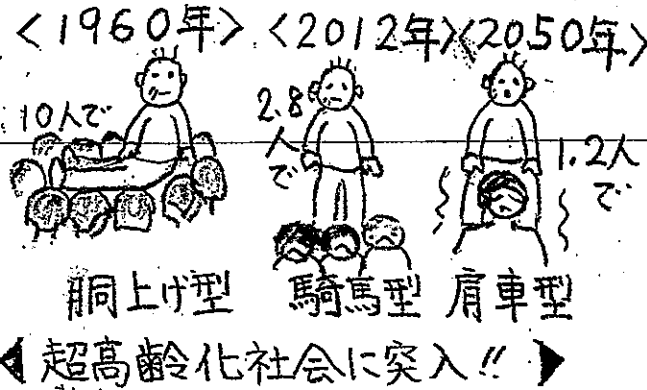
ドウダン 京

福寿草の会
愛川町介護者の会
第140号
平成29年7月1日
連絡先 愛川町社会福祉協議会
Tel 046(285)2111

不順な天候で、体調も崩しがちです。介護中の皆様方には、つらい時です。休める時には少しでも休んで、他の人の助けも借りて、ご自身をいたわって下さいね。
認知症——70代に入り、物忘れが多くなり、自分も友人も、不安と恐れを抱くようになりました。メモする、確認する、そして整理する、などして、自ら落ち込まないようにしましょう。そして、回りも、認知症だから、何もできないから、と決めつけしないで、役割を取り上げないで、と願います。

5月のつどいは 総会と話し合いでした

5月22日、29年度総会を行いました。会員21名中、20名参加でした。小野澤高齢介護課長、関根社協事務局長から、右図のような超高齢化時代での、会の存在の大切さ、さらに地域の輪を広げて欲しい、との励ましと応援のご挨拶をいただきました。



討議事項も全て承認され、役員も続投となりました。引き続きよろしくお願ひ致します。その後、話し合いを行いました。以下、話題となった一部です。

・認知症の人を地域で助け合う町づくりなどと言うけれど、具体的には、どういうことをいうのだろう？ 回りで認知症ですという人を知らないし、夫を看ている私には、近所で「いつでも車を出すから言って」と言ってくれる人はいるけど。中課題ですね。
・認知症になるのを遅らせるには、どうしたら良いのでしょうか。⇒趣味やこの会参加も。

・この会で経験者のお話を聞いたことで、親の施設入所の決断ができた。自分や家族がうつ状態になった。自分自身の人生も大事にしなければ、と強く思った。⇒今日のキーワードです
・夫を介護。2年前、心不全などで入院した時に、暴言・暴力がある。認知症と断定され、つなぎ服などの拘束を受ける。思い余って転院。現在は改善し、要支援1である。

7月のつどいは 18日(火)午後1時半~3時

◇場所：町福祉センター3階会議室
◇内容：話し合い・情報交換

※6月8日付朝日新聞「認知症の人と家族の会」代表理事 高見園生氏のインタビュー記事より「初めて来た人は悲愴な顔してね、泣きながら介護の話をするけども、帰る時には笑顔になって帰っていきはる。同じような経験をした会員が必ずいて、自分はどうしたか話すんです。独りぼっちではないと分ってもらうことで元気になる。つながることが一番の力になると僕は確信してるんです。」

4つの家族会交流会 海老名市で

今年度の交流会は、海老名市四つ葉のクローバーの会主催で、6月13日、海老名市福祉会館で開かれ、愛川町からは、会員7名が参加しました。また、町地域包括支援センターの野口氏が送迎も含め、一日参加して下さいました。各会員の他、行政や社協、地域包括センター、ケアネット、県認知症家族の会の方々など、総勢70人。地域の方々の理解と協力が広がっていると感じました。

主催者の市川会長、高齢介護課長萩原氏、社協事務局長平本氏の挨拶の後、4つの会会長から各会の紹介があり、各会ともに、会員の高齢化が上からっていました。

その後、昼食タイムでは、海老名の会員の皆様からのさし入れの漬物やデザートに舌づつみを打ちました。海老名四つ葉のクローバーの会では、毎月の定例会を、こうした昼食をはさんで「いこいの家」と称して開いています。

認知症介護者海老名のつどい

認知症の人と家族の会 神奈川県支部 主催

7月19日(水)

午後1時半~3時半

▶場所：海老名市総合福祉会館 談話室・茶室

参加費 無料です
特別に申し込みも不用です。
認知症のこと、介護でお困りのこと、なんでも、ゆっくりと話し合える場です。
※福寿草の会は18日(前日)です!!



午後の部では、保健師さんの指導によるコクニサイズ(頭と身体を同時に使った運動で、認知症予防に良いとされる)で緊張したり笑ったり、皆さん真剣でした。

その後、6つのグループ毎の話し合い。グループ分けも工夫されていて、「妻を介護」「夫を」「実父母を」「義父母を」などと。後での発表もないとあって、皆さん、リラックスして、ゆっくりと話し合えました。

また、今回は、介護されている方を同伴した方が4組ほどおられ、はじめのうちは離れるのは、いやだったようでしたが、ボランティアさんに上手に誘われて、コーナーでゲーム、けん玉、歌など、笑顔を見せている姿は印象的でした。

細やかな配慮がゆき届き、介護者にとって、心なごむ一時でした。四つ葉のクローバーの皆様、本当にありがとうございました。